



四中だより

令和6年1月15日
荒川区立第四中学校
学校だより 第10号

校長先生 第3学期 始業式のお話しより

今年は一日から能登半島に震度7の大地震が起こり、未だに復旧の糸口が見えないままです。皆さんも一日の夕方からほぼ全てのテレビ番組が災害の特集に変わり、知っていると思います。古くから続いていた輪島の朝市の民家は大火となり、一面が焼け野原になってしまいました。白米千枚田へ続く海岸沿いの国道も崖崩れで通ることができなくなってしまいました。私は昨年夏に能登半島を観光してきましたが、変わってしまったさに言葉がありません。家屋の倒壊、火事、津波で多くの命が失われたことに心からお悔やみを申し上げるとともに、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。

そして、二日には日本航空と海上保安庁の航空機衝突事故が起きています。残念ながら、海上保安庁5人の方が亡くなられました。大きな災害・事後が続く、自分の力ではどうしようもないことが身近に感じるようになりました。

この中で、思うことは人の力です。多くの方が被災地のことを思い、多くの方が被災された方のために必死に活動する姿を見ることができました。また、航空機衝突事故では、日本航空機は乗客・乗員全ての命が冷静な行動によって救出されています。助け合うことの素晴らしさを改めて感じるすることができました。一方で、SNSをみるとフェイクニュースが飛び交い、それをリツイートすることで、正しい情報が被災された方に伝わりにくくなっていることも事実です。皆さんは正しい行動がとれると信じていますが、一部の方により、混乱を招いていることは悲しいことです。

地震については、いつ起きてもおかしくない自然現象です。日中、大半の大人は、働きに出ています。この地域を守る担い手は皆さんです。そして学校は、一時避難所として地域の皆さんを受入れることもあるかもしれません。皆さんの普段からの行動が地域の命を支える力になります。私が生まれて50年、主な大震災だけでも、日本海中部地震、北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、能登半島地震があります。これ以外にも大きな地震はまだあります。

さて、話は変わりますが、昔から正月から三月は行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことから「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言われています。「一年の計は元旦にあり」と何回か聞いたことがあると思います。年の最初に今年は何をするか、目標を定め決意を新たにすることが大切で、年の初めの過ごし方がその一年を左右するという思いが込められています。これに類似した言葉に「一生の計は少壮にあり」は若いうちこそ大切であり、一生懸命勉強することや経験することがその人の財産になります。「一日の計は朝にあり」は有意義な一日の過ごし方として言われています。

共通したことは、「スタートが肝心」ということです。3年生は進路決定という大きな目標に向けて走り出していると思いますが、1・2年生は考えなしに今年を始めてしまっただけでなんとなく1年が過ぎ、時間を無意味に消費してしまいます。時間は全ての人に平等に与えられています。そこで皆さんにお願いが3つあります。

まず、皆さんには、昨年のことを思い起こしてください。きっと去年の今頃も「一年の計は元旦にあり」と言われて目標を立てていると思います。目標達成できたかどうか、何が成長したか思い起こしてみてください。

次に今年目標を立ててください。3学期は次の学年の準備期間でもあります。目標がなくては行動に移せません。目標を立てていない人はどんな学年になりたいのか、どんな力を伸ばしたいのか、昨年の反省からどうしたら実行に移すことができるのか考えてください。

最後です。3学期は五つの大切のうち、「みんなを大切にしよう」を特に心掛けてください。分かりやすいところと言えば、3学期は進路決定を控えた3年生にとって、とても辛く、苦しい時期です。必死に取り組んでいる人を支えてあげてください。支えることはいろいろな形があります。声を掛けることもそうかもしれませんが、じっと見守ることも支えることだと思います。「頑張れ」が励ましになる人もいれば、「頑張れ」が「もう頑張っているのにこれ以上何を頑張ればいいのか」と苦痛になる人もいるかもしれません。辛く苦しい時期に支えるのは、私は難しいことだと思っています。ですから、皆さんには、「みんなを大切に温かく寄り添い、見守っている」と常に心に思っていてほしいです。また、皆さんは周りの人が「みんなは、何も言わないけど支えてくれていて」と思っていてほしいです。そして、辛く苦しい時期を超えたときに「よかったね」と言い合えるようお願いいたします。

正しい知識を得て、健康安全への意識を高めることができました。

安全指導「薬物乱用防止教室」 11月24日(金)



昨年11月24日(金)、(公益)麻薬・覚醒剤乱用防止センター専務理事 松本 達朗 様をお招きし「薬物乱用防止教室」を実施しました。薬物使用が低年齢化していることや薬物乱用による心身への悪影響を、実例を交えてお話していただきました。

今回の講演から学んだことを生かし、今を、そして将来にわたり、正しい知識・認識を持ち、健康で安全な生活を送れるようになってほしいと思います。松本先生、あ

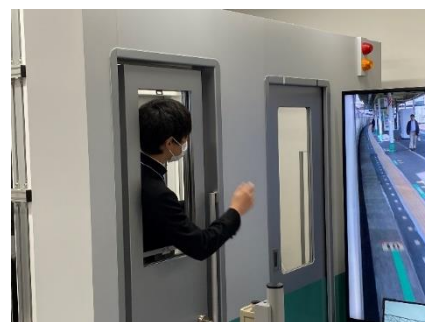
りがとうございました。

働く体験をさせていただきありがとうございました。

2年「勤労留学」(職場体験)実施 11月27日(月)～ 12月1日(金)

荒川区では、キャリア教育の一環として、区内全中学校で5日間の職場体験「勤労留学」を行っています。本年度は、事前指導と事後指導を含めて5日間の日程で実施いたしました。

生徒は30事業所に分かれ、職場体験をさせていただきました。日頃見たことがある仕事も実際にやってみることで、その苦労や大変さを知るとともに、その仕事の大切さややりがいなども感じる体験となりました。今回、職場体験をお引き受けいただきました事業所の皆さまには、生徒たちを本当に温かく受け入れていただき、誠にありがとうございました。



ご協力いただいた事業所

ライフ東尾久店/千住大橋店/南千住店・(株)城北ヤクルト販売・ケーズデンキ足立店(小台)・JR北千住駅・お食事処ときわ・マクドナルド町屋店・荒川製パン株式会社・竹隆庵 岡埜本店・都電もなか 明美・ヘアステージインパークス北千住店/町屋店/西日暮里店・荒川区立荒川保育園・荒川区立三河島保育園・荒川区立花の木幼稚園・花の木ひろば館・南千住図書館・町屋図書館・ゆいの森あらかわ・西尾久東部在宅高齢者通所サービスセンター・竹内病院・荒川消防署・荒川警察署・荒川総合スポーツセンター・あらかわ遊園スポーツハウス・スポーツクラブNAS 西日暮里店・サンパール荒川・吉田労務コンサルティング

災害の備えとして、地域の方とともに歩き、学校周辺を確認しました。

防災スポット体験 防災部参加 12月2日(土)

12月2日(土)、防災部の3名が「荒川五・六丁目地区防災まちづくり協議会」の主催する防災スポット体験に参加しました。



マンホールトイレ 設営体験

今回は特に、災害時の一次避難場所という視点で、防災設備や防災食を実際に体験しました。荒川五・六丁目は本校にとって“地元”です。そのため、そこで生活している私たちは、地域の防災対策や災害時対応について知っておくことは大切なことです。今回の取り組みを通して、参加した生徒たちは、周辺の状況や装備を知ることができました。これからも、こうした取り組みに地域の一員として参加・協力していきたいと思います。参加してくれた生徒のみなさん、ご苦勞様でした。

町屋駅前で、募金への協力を呼びかけました。

歳末たすけあい・地域福祉募金 街頭募金参加 12月4日(月)

12月4日(月)17時から、町屋駅前街頭募金活動を行いました。当日は、寒い中「募金への協力、お願いしまーす!」と大きな声で呼びかけをしました。約1時間の活動でしたが、多くの方々にご協力いただくことができました。町屋駅は本校の多くの生徒が利用しています。自分たちの力で地域をよくしていく活動に参加できたことはとても貴重な体験だったと思います。参加協力してくれた生徒のみなさん、ありがとうございました。



募金ボランティアに参加してくれた生徒のみなさん(敬称略)

1年生 鈴木瑛人、田中美光、内山柚香、岩田沙奈、上条琉希、瀬川優実、藤本音愛
赤塚柚希

2年生 中澤壺溪、横田莞侍、佐野こころ、高山泰晴、柳澤直緒子、藤田京美

3年生 井口琉勢、小山絵梨依、須藤結衣、中谷洸喜、三沢サリーム晟、雲藤花音
佐藤那由太、寺久保流星、大橋花音、原川來奈、松田夏梨

学年を超えて学校全体で楽しむ図書館イベントとなりました

第13回「ビブリオバトル in 四中」開催 12月15日(金)

今年度2回目の校内読書週間を「コスモス読書 週間」として12月11日から15日まで実施しました。そして、最終日である15日(金)の放課後、恒例の「ビブリオバトル in 四中」を開催しました。

	発表者	書名	著者	出版社
1	寺尾 華(3C)	リアル鬼ごっこ	山田 悠介	文芸社
2	金子 聡佑(3A)	カビの取扱説明書	浜田 信夫	KADOKAWA
3	横田 莞侍(2B)	変な絵	雨穴	双葉社
4	大橋 耕征(3C)	漫画 君たちはどう生きるか	吉野源三郎/羽賀翔一	マガジンハウス
5	奥村 雄太(3C)	宇宙図鑑	藤井 旭	ポプラ社



バトラーによる本紹介



島田先生による本紹介



バトラーの皆さん

会場となった学校図書館には生徒や先生方が集まり、5名の発表者(バトラー)による熱い戦いが繰り広げられました。発表者は、今回は3年生4名、2年生1名の計5名が出場、どの生徒もしっかりと準備されていて聞き応えのある発表でした。観覧者も意欲的で、積極的に質問をしてくれ、大いに盛り上がりました。投票の結果、今回のチャンプ本には奥村雄太さんが紹介した「宇宙図鑑」が選ばれました。おめでとうございます。